

# 下市町教育委員会だより

教育委員会から町民の皆様への情報通信



令和5年8月1日 第37号  
奈良県下市町教育委員会  
教育長 上東 祥浩 発行

## 下市こども園・下市あきつ学園 連携・交流活動 その1

**下** 市こども園と下市あきつ学園との連携・交流活動が始まりました。一般的には、幼保小連携などと呼ばれていますが、下市町では、こども園と義務教育学校の連携です。右上に掲載した写真は、9年生が、昨年度作成した絵本の一部です。現在、こども園に寄贈されています。この絵本は、各自で考えた短編の物語を絵と文章で表現したもので、9年生の皆さんの心の温かさが伝わるたいへん素晴らしい作品でした。



**児** 童生徒と園児の連携・交流活動のねらいは、園児が下市あきつ学園の生活に親しみ、期待を寄せることや自分の近い将来を見通すことができるようになること。児童生徒が思いやりの心を育んだり、自分一人だけの力ではなく、多くの方々に支えられ成長していることを肌で感じたりすること。として実施しています。



**今** 回は、7月12日(水)に、総合的な学習及び家庭科の授業(保育実習)として、9年生がこども園を訪れました。活動内容は、プラ板キーホルダー及びメダルづくりです。最初は、互いに緊張したり、照れくささもあったりしたようですが、自己紹介が始まると徐々に気持ちがあほぐれ、各グループが輪になって楽しく活動することができました。心が触れ合ったこども園でのひとは、園児、生徒ともに一生の宝物になることでしょう。



### 吉野郡青少年指導員連絡協議会

#### ～ 研修会 ～

7月1日(土)、吉野郡青少年指導員連絡協議会総会並びに研修会が開催されました。奈良県警察本部生活安全部 少年警察補導員 吉川紀子氏をお迎えし、テーマ『奈良県における少年非行の状況』と題して、加害者になってしまった少年たち、被害を受けた少年たち、大人ができること・すべきこと。など様々な視点からのお話でした。依然として、インターネットで見知らぬ人と交流できるSNSを通じて、18歳未満の子どもたちが巻き込まれる事案が後を絶たないようです。また最近では、SNSで「闇バイト」「高額報酬」といった言葉の求人広告に応募した少年の特殊詐欺や強盗等の犯罪も多発しているようです。子どもたちへの注意喚起が必要です。



### 第2回下市生活学校

#### ～ 己書講習講座 ～

7月12日(水)、第2回下市生活学校が開催されました。『己書(おのれしょ)』、あまり聞き慣れない言葉ですが、読んで字のごとく、『じぶんだけの書』という意味です。文字は筆ペン、絵は水彩絵の具を使います。己書は、他人と比べることはありません。上手い下手ではなく、自分の心と向き合い、素直に自由に楽しく描き、夢中になることを大切にされています。デジタルが主流になっている今の時代だからこそ必要なことかもしれません。参加された皆様は、自分らしく、自分の世界を楽しく表現されていました。右の己書は、講師橋本真紀子氏の作品です。



## 第1回下市町文化連盟会議

6月23日(金)に、第1回文化連盟の会議が行われました。昨年度から、町民の皆様の発表の場が戻ってきました。文化芸術は、心や暮らしに豊かさ・ゆとり・誇りを持って生きる力を与えてくれます。私たちの生活の中で文化芸術の果たす役割は益々重要になってきています。奮ってご参加いただきますようお願いします。

|        |                |
|--------|----------------|
| 町展     | 10月28・29日(土・日) |
| 芸能発表大会 | 11月3日(金・祝)     |



## 家庭教育学級・生き生き学級開講式

7月14日(金)に、『生き生き学級』と『家庭教育学級』開講式が開催されました。開講式後、フィットネスインストラクターの赤坂由美氏による『健康体操教室』が行われました。赤坂氏は、すべての女性を応援したい、子どもたちを多くの大人に関わらせて育てたい、という信念を持ち、活動されています。参加された皆様、健康増進のために本日の『体操』を毎日続けてくださいね。



## みんなちがってみんないい ～金子みすゞ～

右の詩は、金子みすゞさんの代表作です。児童文学作家 矢崎節夫氏は、講演会で次のように解説されていました。

「あなたはあなたでいい」。人間を含めて地球上の全ては、違うから生まれることができ、違うからそれぞれが存在することができたのだ。「誰もが生まれただけで百点満点」ということだ。このみすゞのまなざしになるには、人間中心、自分中心では成り得ない。この作品で一番大切なのは、最後の段落の一行前だ。題では『私と小鳥と鈴と』だが、一行前は「鈴と、小鳥と、それから私」と、「私」の位置が変わっている。「私とあなた」ではなく、「あなたと私」になった時、初めて自分優先ではなく、「みんなちがって、みんないい」というまなざしが生まれるのだ。



『私と小鳥と鈴と』  
私が両手をひろげても、  
お空はちっとも飛べないが、  
飛べる小鳥は私のように、  
地面を速くは走れない。  
私がかからだをゆすっても、  
きれいな音は出ないけど、  
あの鳴る鈴は私のように、  
たくさんな唄は知らないよ。  
鈴と、小鳥と、それから私、  
みんなちがって、みんないい。  
【JULA出版】

## 「誰一人取り残されない社会」へ

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

12 つくる責任  
つかう責任



世界で生産されている食品の約3分の1(13億トン)が捨てられています。さらに、2050年までに今の生活を維持して世界の人口が96億人に達すると、地球3つ分の天然資源が必要と言われています。それをわたしたちが大量に消費して暮らしているのです。このような大量生産・大量消費の暮らしは、地球にとっても大きな負担をかけています。豊かな地球の資源には限りがあります。わたしたちは、食品ロスや無駄なゴミを減らし、資源を生かすことで、美しい地球を未来につなぐ責任があります。



▼近畿地方では、7月20日に梅雨が明け、本格的な夏の到来です。  
▼海や川などでのバーベキュー、夕涼みに線香花火、スイカ割り、かき氷、風鈴等すべて夏の風物詩です。▼これまでの3年間、できなかった催しが、再開しつつあります。『夢まつり』は、8月26日(土)、下市観光文化センターで開催されます。



ご意見・お問い合わせは…  
下市町教育委員会事務局  
☎ 0747-52-1711  
FAX 0747-52-5159  
✉ kyoi@town.shimoichi.nara.jp